

令和4年度 第1回

白石町まち・ひと・しごと創生推進会議要録

日時：令和4年5月24日（火）10：00～11：00

場所：白石町役場 3階大会議室

1. 開会

○山口総合戦略課長

おはようございます。総合戦略課の山口と申します。どうぞよろしくお願いいたします。まずもって、今回まち・ひと・しごと推進委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございました。

会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。お手元の令和4年度第1回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議配布資料一覧をご覧くださいと思います。最初に、本日の創生推進会議次第がA41枚ものでございます。それと、資料1といたしまして、本日の委員の皆様の名簿をお付けしております。資料2の会議設置要綱、これもA41枚ものです。資料3ですけれども総合戦略の一部改正案ということでA42枚の資料になります。そしてA3の横長の資料になりますけれども、資料4といたしまして事業実施シートが14ページまでお付けしております。資料5は参考資料といたしまして、令和2年国勢調査等の資料をお付けしております。過不足ございませんでしょうか。

本日の会議ですけれども、令和2年度に作成しております第2期総合戦略につきまして、人口減少ということを受けまして、新たな施策を追加するための総合戦略の一部改正と総合戦略の推進状況の確認ということで本日の会議を予定しております。委員の皆様のご意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、お手元に配布しておりますレジュメにより進めさせていただきます。

2. 委嘱状交付

○山口総合戦略課長

それでは、まず委嘱状の交付をさせていただきます。本来であれば、新しく委員になられた方お一人お一人に交付すべきところではございますけれども、時間の都合上、本日は代表いたしましてJA佐賀杵藤エリア白石地区青年部部长、川崎晶也様をお願いしたいと思います。川崎様、どうぞ前のほうにお進みください。

（委嘱状交付）

なお、他の新しくなられた委員の皆様には机上への配布をもって交付とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは会長であります百武副町長より挨拶を申し上げます。

3. 会長あいさつ

○百武会長

みなさん、おはようございます。

本日は、大変ご多用の中に白石町まち・ひと・しごと創生推進会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、今回推進会議の委員をお引き受けいただきましたことにつきましても重ねてお礼を申し上げるところでございます。ありがとうございます。

ご案内のとおり、現在のコロナ禍に加えまして、原油価格、物価高騰を受けて町内の様々なところに影響が出ているところでございます。町では、今後も町内経済の下支えや町民の生活への影響が最小限となるように各種施策に取り組みたいと考えております。

現在、町内では玉葱や麦の収穫期を迎えております。特に玉葱は、北海道産の不作や、国際情勢などによりまして、昨年までと打って変わってこれまでにない高値で推移をしているところでございます。世界規模での異常気象や、ウクライナ情勢などから食料の安定確保の重要性が増しておりまして、農業農村の価値、魅力が再認識されてくるのではと思っております。

ご存知の方も多いと思いますが、令和2年度国勢調査では本町の人口は22,051人でありまして、5年間でマイナス1890人、7.89%の減となりました。この人口減少率につきましては、県内ワーストという結果で、町では大変この結果を重く受け止めておりまして、特に若者や子育て世帯に選ばれるように効果的な施策に取り組む必要があることから、今年度から住宅取得への支援、県外からの移住への支援、新婚世帯への支援の拡充など移住・定住支援策を大幅に拡充したところでございます。

こういった状況を踏まえての本日のまち・ひと・しごと創生推進会議でございますが、令和2年度に策定をいたしました第2期総合戦略の一部改正、及びこれまでの総合戦略に掲げた事業の進捗状況の確認を予定しているところでございます。どうか委員の皆様の忌憚のないご意見をいただけますようお願いいたします。私のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

4. 委員の紹介

○山口総合戦略課長

ありがとうございました。ここで委員の皆様の紹介をいたします。

○辻白石創生推進係長

総合戦略課白石創生推進係の辻と申します。どうぞよろしく願いします。

それでは資料1の名簿順に所属とお名前を読み上げてご紹介させていただきます。

(委員の紹介)

5. 町担当職員の紹介

○山口総合戦略課長

続きまして町担当職員の紹介でございますけれども、職員につきましては時間の都合上一人ひとりの紹介は割愛させていただきますけれども、資料1の座席表にお示ししておりますとおり、15名の職員が事務局となっております。よろしくお願いいたします。

6. 白石町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱について

○山口総合戦略課長

本日の推進会議設置要綱について、事務局のほうから説明させていただきます。

○辻白石創生推進係長

それでは、資料2の白石町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱につきまして、事務局から説明いたします。

本日のまち・ひと・しごと創生推進会議は、この設置要綱に基づいて開催しております。第1条に規定しておりますとおり、総合戦略の策定及び推進にあたり、広く関係者の意見を反映させるために設置をしております。第2条は、この推進会議において審議する事項を定めております。第3条で推進会議は委員20人以内をもって組織するとしております。先ほどの資料1のとおり12名の方に委員を委嘱しております。第4条で、委員の任期は3年となっております。現在、令和2年から令和4年度末までの3年間となっております。人事異動などにより委員に変更があった場合の後任の方につきましては前任者の残任期間をお願いすることになります。第5条はこの会議の会長は白石町副町長をもって充てるとなっております。第6条で招集は会長が招集し、その議長となります。第7条は会議の庶務について総合戦略課で行うことを定めております。簡単ですが、要綱と役割についての説明は以上となります。

○山口総合戦略課長

創生推進会議の設置要綱について説明をいたしましたけれども、質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

7. 協議事項

○山口総合戦略課長

それでは、ただいまから協議事項に入らせていただきます。ここからは百武会長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(1) 第2期(令和2~6年度)総合戦略の一部改正について

○百武会長

それでは、規定によりまして、私のほうで議長を務めさせていただきたいと思います。早速ですが、7. 協議事項に入ります。(1) 第2期（令和2～6年度）総合戦略の一部改正についてに入ります。初めて委員になられた方も多くいらっしゃると思いますので、まず総合戦略について説明を事務局よりお願いします。

○辻白石創生推進係長

それでは、一部改正の前に第2期総合戦略の説明をいたします。

総合戦略の策定の根拠につきましては、まち・ひと・しごと創生法に基づいております。少子高齢化への対応、人口減少の歯止め、東京圏への人口集中の是正といった、人口減少・少子高齢化社会という日本の大きな課題に対応するために、策定をしています。白石町が魅力のある町であり、白石町に住みたい、行ってみたい、働きたい、白石町で子育てをしたいと思ってもらえるような町にすることを考えて、実行していくものとなります。特に若い世代にアピールをしていきたいと思っております。

まず、参考資料の資料5をご覧ください。令和2年の国勢調査の結果を添付しております。この表を見ていただきますと、一番上が佐賀県全体の合計となります。人口811,442人で、5年間で2.57%の減少、15年間で6.34%の減少となっています。白石町につきましては、この表の下から2番目となります。人口22,051人で、5年前の平成27年より1,890人減少となっております。減少率が7.89%ということで、県内で一番減少率が大きくなりました。それから、合併時の平成17年と比べますと、15年間で5,006人の減少、減少率はマイナス18.5%と大きくなっています。

ちなみに、隣の江北町を見ていただきますと、5年間でマイナス17人、15年間でマイナス62人、減少率はマイナス0.64%とほぼ横ばいが保たれています。このように、白石町と江北町を比べますと、人口増減率に大きな差がついています。

続きまして、次の2ページをご覧ください。総合戦略の策定にあたりまして、まず将来の白石町の人口を推計しています。この表は人口ビジョンの抜粋ですが、2年前の令和2年3月に策定しています。左から2010年と2015年は国勢調査の実績値となります。2020年からは推計の人口となります。赤色が社人研推計値と書いてありますが、国立社会保障・人口問題研究所という機関から出された推計です。上の青色で囲ってある人口につきましては町の独自推計で、これは総合戦略によって成果を上げた場合の推計値となります。2020年の社人研推計値が22,245人となっておりますけれども、先ほどありましたとおり、国勢調査の結果が22,051人でしたので、この推計以上に実際の人口が減少しています。

それでは、総合戦略の冊子をご覧ください。はじめに、1ページをご覧ください。Iのはじめにということで、1趣旨となっております。趣旨につきましては、先ほど申し上げたことが書いてあります。

2ページですけれども、2の総合戦略の計画期間ですが、令和2年度から6年度までの5年間となります。3の総合戦略の検証・改善・改訂につきましては、本日の会議を

含めまして、適切に管理していきます。

続きまして3ページをご覧ください。4の総合戦略の体系図です。ページの真ん中にオレンジ色で基本目標①、②、③、④とあります。この目標に基づき取り組む施策の成果によって、緑色で囲ってある白石町人口ビジョンの将来展望の達成を目指していくということを図で示しています。

ページ飛びまして9ページをご覧ください。9ページにつきましては、第2期の基本目標、基本的方向、具体的な施策となっております。四角で囲っているところの中段以降ですけれども、各基本目標における数値目標や重要業績評価指標（KPI）は、白石町まちひとしごと創生総合戦略における具体的な施策の実行により達成すべき目標を記載しております。したがって、民間企業や個人による雇用など、町で把握できないものは対象外としています。そういったことで、数値目標を達成したかどうかを図る指標は、総合戦略に記載している事業が対象ということになります。

10ページ以降が、基本目標ごとの数値目標や、めざすべき方向、具体的な施策とKPIとなります。詳しくは後もってご覧いただければと思います。

最後になりますが、総合戦略は、人口減少の抑制を図り、町の活性化を目指していくために必要な施策を取りまとめたものとなります。特に、白石町におきましては、人口減少が地域経済を縮小させ、さらに人口減少を加速させる負のスパイラル、悪循環の連鎖の克服と地方創生が重要となっております。

以上で総合戦略の説明を終わります。

○百武会長

ありがとうございました。ただいま総合戦略について説明がございました。このことについて、ご質問等ございませんでしょうか。

無いようですので、何かあれば後もって出していただければと思います。

それでは、改正内容について説明をお願いします。

○堤

総合戦略課白石創生推進係の堤と申します。私のほうから、第2期総合戦略の一部改正についてご説明させていただきます。資料3と資料5をご覧ください。

まず、資料の3からご覧ください。1枚目の定住促進、移住支援について、令和4年度より総合戦略課では、移住・定住の促進に向けた新たな事業がスタートいたしました。それに伴い、赤字でお示ししておりますとおり、具体的な施策の追加と数値目標の修正を行うものです。新しい事業について簡単にご説明いたしますので、資料5の3ページをご覧ください。

まず、若者・子育て世帯の住宅取得を支援する「住まいるしろいし応援事業」です。資料にありますとおり2種類にわかれておりまして、「ずっと住まいる応援事業」は新築住宅、建売住宅、中古住宅の購入にかかった費用を最大100万円補助します。「みんなが住まいる応援事業」は新たに親と同居するためにおこなう既存住宅の増改築にかか

った費用を最大 50 万円補助します。どちらの事業も、夫婦ともに 39 歳以下または中学生以下の子どもがいる世帯を対象としております。予算額は「住まいるしろいし応援事業」全体で 3,570 万円です。

次の 4 ページ下のほうをご覧ください。県外からの移住者への支援についてです。東京圏在住者移住支援事業は以前から実施していましたが、東京 23 区に在住、または通勤していた方が白石町に移住し、就業等の要件を満たす場合に最大で 100 万円を支給します。また、さが暮らしスタート支援事業については、今年度より新たにスタートした事業になりますが、佐賀県外に 5 年以上在住していた 49 歳以下の方が白石町に移住し、就業等の要件を満たす場合に最大で 100 万円を支給します。令和 4 年度予算額は、東京圏在住者移住支援事業は 380 万円、さが暮らしスタート支援事業は 550 万円となっております。以上の新規の施策を追加しております。

資料 3 にお戻りください。先ほどの施策の追加により K P I の数値目標を修正しております。移住・定住者数について 5 年間で 80 人としていたところを、5 年間で 650 人に修正しております。650 人の根拠といたしましては、令和 6 年度までに「東京圏在住者移住支援事業」で 30 人、「さが暮らしスタート支援事業」で 60 人、「住まいるしろいし応援事業」で 480 人、「空き家・空き地バンク事業」で 31 人、ここに令和 2 年度と 3 年度の実績 49 人を足して、650 人程度と見積もっております。

資料 3 の 2 枚目をご覧ください。結婚推進対策の充実の (2) 結婚新生活支援についてこちらも令和 3 年度より事業がスタートしておりますので、赤字でお示ししておりますとおりの施策の内容と数値目標を修正しております。こちらも簡単に事業内容をご説明いたしますので、さきほどの資料 5 の 4 ページをご覧ください。

結婚新生活支援事業は、新たに婚姻届けを提出した夫婦ともに 39 歳以下の世帯が対象で、住宅取得費やアパートの賃借費用など新生活にかかる費用を支援するものです。年齢や所得に応じて最大 60 万円の補助を受けることができます。令和 4 年度予算額は 1,660 万円となっております。

資料 3 にお戻りください。内容の変更により、こちらも K P I の数値目標を修正しております。成婚数について 5 年間で 40 組としていたところを、5 年間で 160 組に修正しております。「婚活サポート事業」、「結婚新生活支援事業」による令和 4 年度から 6 年度までの成婚者数を 149 組、ここに令和 2 年度、3 年度の実績 11 組を足して 160 組と見込んでおります。

第 2 期総合戦略の一部改正の説明については以上になります。

○百武会長

ありがとうございました。ただいま総合戦略の一部改正について説明がありました。ただいまの説明について、ご質問等ございませんでしょうか。

それでは、無いようでございますので、総合戦略の一部改正についてご承認いただけます方は拍手をお願いします。ありがとうございます。原案のとおり改正をさせていた

だきたいと思います。

(2) 第2期(令和2~6年度)総合戦略の実施状況について

○百武会長

続きまして協議事項(2)第2期(令和2~6年度)総合戦略の実施状況についてに入ります。ページが多くなっておりますので、基本目標ごとに説明いたします。

まず、基本目標①本気!やる気!元気!しろいし!1ページから4ページまでの説明をお願いします。

○堤

引き続き私のほうから第2期総合戦略の令和2年度、3年度の実施状況についてご説明いたします。

資料4の1ページをご覧ください。企業誘致や起業等による雇用の確保についてです。5年間で起業による出店数3店という目標に対し、令和2年度が1店、3年度がゼロの実績となっております。令和2年度の1店は、白石町地域商業活性化支援事業の実績によるものです。また、企業誘致については5年間で1カ所の目標に対して、令和2年度、3年度ともにゼロとなっております。新型コロナウイルスの影響などにより企業訪問を実施できなかったこともあり、現時点では目標を下回っております。今後も白石町に適応した企業を誘致するため検討を続けてまいります。

2ページをご覧ください。新規就農者及び農業後継者の育成・確保についてです。新規農業従事者数は、5年間で125人の目標に対して、令和2年度は29人、3年度は19人となっております。活用できる補助事業や資金の紹介、各種セミナーや研修会などを実施しました。2つ目のしろいし農業塾卒業者の農業従事者数については、5年間で15人の目標に対して、令和2年度はゼロ、令和3年度は3人となっております。令和2年度のゼロについては、いちごトレーニングファーム生のうち農業塾生にあたる県外からの研修生がいなかったため、ゼロとなっております。令和3年度の3人は、令和2年度のトレーニングファーム生8人のうち3人が県外からの農業塾生として、令和3年度に卒業されたということです。なお、この3人は上の新規農業従事者数19人に含まれております。3つ目の農業従事者(被雇用者)数については、5年間で25人の目標に対して、令和2年度が1人、3年度が2人となっております。この数字は、あくまで町で把握している新規の被雇用者数です。

3ページをご覧ください。新しいことへ挑戦する人への積極支援についてです。起業・創業者数は5年間で3人の目標に対し、令和2年度が3人、3年度が8人の実績となっており、商工会と連携した支援を行うことでKPIの目標を達成しております。璃の香作付け農家数は5年間で3戸の目標に対して、令和2年度は7戸、3年度は18戸となっており、新規農産物作付拡大推進事業や作付講習会などの取組により目標を達成しております。

4 ページをご覧ください。ふるさとで活躍する人材の育成についてです。企業等と学校が連携する取組について、5 年間で 20 回の目標に対し、令和 2 年度が 3 回、令和 3 年度が 8 回の実績となっております。主に白石高校や佐賀農業高校と連携した事業を実施しました。詳細については資料でご確認ください。そのほか、職場体験学習も予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

基本目標①の説明については以上となります。

○百武会長

ありがとうございました。ただいま基本目標①の 4 ページまで説明がございました。これについてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

無いようでございますので、基本目標②に入ります。5 ページから 7 ページまで説明をお願いします。

○堤

基本目標②です。5 ページをご覧ください。白石町の魅力発信についてです。町ホームページのアクセス件数について、令和 6 年度の目標が年間 528,000 件であることに對して、令和 2 年度が年間 585,411 件、3 年度が 664,584 件の実績となっております。令和 2 年度から 3 年度にかけては、災害やコロナ関連のアクセス数が多かったため、目標よりもかなり高い数字がでております。観光関連では、道の駅やイベント関係へのアクセス数が上位でした。そのほか、道の駅のデジタルサイネージを活用し、6 次製品の紹介や町内の観光情報の発信を行いました。

6 ページをご覧ください。定住促進、移住支援についてです。空き家・空き地バンクの登録件数は、5 年間で 40 件の目標に対し、令和 2 年度が 11 件、3 年度が 16 件の実績となっております。HP のリニューアルや広報誌等での周知の成果が出ているものと考えております。移住・定住者数については、さきほど一部改正の部分でご説明しましたとおり、数値目標を 5 年間で 80 人から 650 人に修正しております。それに対し、令和 2 年度が 29 人、3 年度は 20 人の実績となっております。こちらの数字には、空き家・空き地バンク事業を利用し白石町に移住された方と東京圏在住者移住支援事業により東京都から移住された 1 世帯 4 名の方を含んでおります。なお、しろいし農業塾生はここでの移住者にはカウントしておりません。また、こちらも先ほど一部改正の部分でご説明いたしましたが、新たな移住・定住の促進に向けた事業のスタートに伴い (4) 住宅取得者への支援、(5) 移住者への支援 を新たに追加しております。今後は「住まいるしろいし応援事業」「東京圏在住者移住支援事業」「さが暮らしスタート支援事業」を利用して白石町に移住された方についても、移住・定住者数の実績にカウントしていきます。

7 ページをご覧ください。地域観光資源の再発見についてです。観光入込客数は、令和 6 年度の目標が年間 386,600 人であるのに対し、令和 2 年度が年間 321,992 人、3 年度が年間 696,784 人となっております。道の駅への来場者数の増加などもあり、大幅に

増えております。観光ルート数については5年間で3本という目標に対して、令和2年度、3年度どちらも3本となっております。令和3年度の3本は、既存の3本の観光ルートの見直しを行ったという意味です。そのほかシェアサイクル事業などにより、手軽に町内を観光できる環境整備を行っております。

基本目標②の説明については以上になります。

○百武会長

ありがとうございました。基本目標②について説明がございました。ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

○委員

6ページの定住促進・移住支援のことでお尋ねなんですけれども、移住された方たちの移住を決められたポイントに大変興味がありまして、皆さんのこのような支援の予算のポイントだったのか支援の働きかけだったのか、人口減少を止めるためのポイントになるのかなと思ひまして、そこをもし、つかんでらっしゃったら教えていただきたいと思ひます。

○百武会長

ありがとうございます。移住された方の理由、白石に来られたポイントを把握していればということでございます。事務局お願いします。

○辻白石創生推進係長

実績として、東京圏在住者移住支援事業があがっております。これについては、跡取りさんだったということで東京圏からUターンされたと同っております。

○筒井総合戦略課長補佐

空き家・空き地バンク事業につきましては、基本的には町内に住んでおられた方が、町内でお住まいを探されていらっしゃいましたが、武雄市のほうからこちらのほうに空き地を買われた方もいらっしゃいます。そういったことで、これまで住んでいた環境を変えたいということで、こちらのほうに購入いただいた方もいらっしゃいます。

○百武会長

よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

○委員

7ページの観光ルート数なんですけれども、令和2年度の実績の3本は既存ルートの見直しということで、令和3年度の3本はいつのものなのでしょう。

○百武会長

観光ルート3本についてのご質問でございます。担当課から説明をお願いします。

○藤井商工観光課長補佐

観光ルートの件についての説明ですけれども、今3本の観光ルートがあります。2年度から3年度への観光ルートの変更をいたしております。龍造寺隆信のコース、café巡りコース、有明海むつごろうコースということで、2年度から3年度への観光ルート

の改正を行っています。以上です。

○百武会長

2年度に作成した3本を見直したということです。よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

他にないようでございますので、次に基本目標③、8ページから11ページまで説明をお願いします。

○堤

8ページをご覧ください。結婚推進対策の充実についてです。成婚数については、さきほど一部改正の部分でご説明いたしましたとおり、数値目標を5年間で40組から160組に修正しております。それに対して、令和2年度は6組、3年度は5組の実績となっております。5組のうち4組は結婚新生活支援事業による実績です。また、こちらも一部改正の中でご説明いたしましたが、(2)結婚新生活支援の内容を修正しております。結婚新生活支援事業の充実により、今後さらに成婚数が増えることが見込まれます。

9ページをご覧ください。出産支援についてです。合計特殊出生率について、令和6年度の目標を1.50としておりますが、令和2年度、3年度については、現時点では数値が出ていないため不明としております。出産に対する支援として、不妊治療に対する治療費の助成や多子世帯への保育料の軽減措置を行っています。

10ページをご覧ください。子育て支援についてです。子育ての感じ方満足割合については、5年に1回の町民アンケートをもとに集計されますので、令和2年度、3年度の実績は現時点では不明となっております。子育て支援については、妊娠届出時の妊婦相談から始まり、乳幼児全戸訪問、子どもの医療費助成、子育て相談室など、専門機関と連携して継続的な支援を実施しております。また、中央公園やふくどみマイランド公園がより安全で遊びやすい魅力的な公園となるように遊具の保守点検や補修などを行っています。

11ページをご覧ください。教育環境の整備についてです。コミュニティスクールの導入・継続について、町内全小中学校を目標としておりますが、各小学校では既存のコミュニティスクールが継続されています。令和6年度開校予定の新設中学校への新たなコミュニティスクール導入については、新しい学校づくり準備委員会の中で検討を行うこととしております。また、教育環境の整備については、こちらも町内全小中学校を目標としておりますが、令和6年度の新設中学校開校に向けて統合再編計画を策定し、開校に向けた具体的事項について協議、決定を行っているところです。

基本目標③の説明については以上になります。

○百武会長

ありがとうございました。基本目標③についてご説明いたしました。これについて、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

○委員

8 ページの、成婚数が 5 年間で 160 組となっていますが、令和 2 年度と 3 年度でも 6 組と 5 組しかできていないのに、何十倍も増えた根拠はなぜでしょうか。確かに支援がいろいろあっても、そういったもので若い人がいきなり来るとは考えられないし、婚活イベントもあっていないしコロナの影響で出会う機会も少ない中で、100 組前後だったら何も思わなかったですが、いきなり 160 組というのが引っかけたもので教えてください。

○百武会長

ありがとうございました。K P I では当初 5 年間で 40 組を今回 160 組ということで大幅に見直しがされております。この 160 組の根拠について、説明をお願いします。

○辻白石創生推進係長

白石町に婚姻届を出される数が 60~70 件となっております。その中で、町が取り組んでいる事業で成婚された方の実績が令和 2 年度は 6 組、令和 3 年度が 5 組という実績だったんですけれども、今回、結婚新生活の支援事業の要件を大幅に拡充しまして、先ほどのチラシを見ていただくと要件が大きく 3 つにわかれておりまして、多くのカップルが③夫婦ともに 39 歳以下および直近の所得が 400 万円以上に該当されます。そういったことから、今年度から 400 万円以上の夫婦に対しても支援をするということにいたしましたので、婚姻届を出される方のほとんどが該当になるということを見込んで大幅に目標を拡充しています。

○筒井総合戦略課長補佐

1 点、補足させていただきます。本町の転出の原因が、結婚を機に町外に出ていかれるということがありまして、そこを外に出さないために今回結婚新生活事業の要件を拡大しております。そういったことで、目標を 160 組に拡大させていただいております。

○百武会長

よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

せっかくですので、今回 5 月の補正予算でマイランド公園、それから当初予算では中央公園の遊具等の整備の計画をしております、この件について担当課からご紹介をしていただければと思いますが。

○永尾生涯学習課長補佐

生涯学習課におきましては、5 月補正でマイランド公園の遊具の更新、それと公園にありますトイレの改修ということで、8,000 万円の補正予算を組みました。内容につきましては、元々マイランド公園のほうに舟形の大きな遊具があったんですけれども、老朽化で使用できなくなりまして撤去をしていました。

この度コロナ対策交付金を活用するというので、中央公園もありますが、コロナを見越して分散して遊べる場所ということで交付金を利用して新しく整備をいたします。それと併せまして、沿岸道路が開通したことにより人の流れが変わりました。道の駅しろいし、沿岸道路を活用しましてマイランドの一体的な見直しをしていこうということ

で、今回大規模な遊具の改修、そこを利用していただくお母様方や子どもさんにきれいに使っていただけるようにということでトイレの改修をご紹介します。

○百武会長

ありがとうございました。中央公園のほうもよろしいですか。

○笠原建設課長

中央公園の遊具を以前から利用者から充実をさせていただきたいという要望がありました。特にコロナが発生して屋外で子どもたちを連れてきて遊ぶということで、非常に利用客が多い状況です。そういった中で、今回遊具を増設したいと考えております。

また、トイレについても建築からかなり年数が経っておりまして不便、和式を洋式にするということで、昨年度コロナの交付金事業を活用しまして自動洗浄化、非接触で手洗いをできるように対応をしたところです。以上です。

○百武会長

ありがとうございました。先ほど説明がございましたように公園施設の充実ということで、今年度中央公園とマイランド公園の施設の充実を図っていきたいということで紹介しました。

○委員

いつ頃完成しますか。

○永尾生涯学習課長補佐

生涯学習課のマイランド公園につきましては、今年度の予定です。

○百武会長

中央公園についても今年度3月いっぱいの予定です。

ほかにご覧いませんか。無いようでございますので、最後の基本目標④、12 ページから14 ページになります。説明をお願いします。

○堤

基本目標④です。12 ページをご覧ください。町民協働によるまちづくりについてです。地域づくり協議会の設立数については、5年間で8カ所の目標に対して、令和2年度は0カ所、3年度は須古地区の1カ所となっております。現在、六角地区で令和4年度中の協議会設立に向けた取組が進められております。NPO法人の設立数については、5年間で3件の目標に対して、令和2年度は1件、3年度は0件となっております。NPO法人やCSOに対しては、県のさが未来アシスト事業など各種補助金を活用して活動支援を行っております。また、しろいしWAWAWAと協働で日本語教室を実施しております。

13 ページをご覧ください。安全・安心で快適な住みよいまちづくりについてです。自主防災組織の組織率については、5年後に100%の目標に対して、令和2年度は37.8% (24 組織)、3年度は41.7% (25 組織) となっております。組織率向上のため、地区公

民館や老人会、地元サロン対して、防災出前講座を実施しております。そのほか、住宅の耐震改修事業や、浸水対策事業などを実施しております。

14 ページをご覧ください。誰もが活躍できるまちづくりについてです。健康体操サロン数は、令和 6 年度に 35 カ所の目標に対して、令和 2 年度は 29 カ所、3 年度は 28 カ所となっております。新型コロナウイルスの影響で活動を自粛された期間もありましたが、専門職を派遣するなどしてサロンの継続支援を行いました。シルバー人材センター年間登録者数については、5 年後に 120 人の目標に対して、令和 2 年度は 112 人、3 年度は 109 人となっております。補助金の交付などにより運営を支援しておりますが、新規会員の確保に苦慮されている状況です。そのほか、女性団体連絡会の立ち上げ、意見交換会等の開催により、地域での女性の役割の創出に取り組んでいます。

基本目標④の説明は以上になります。

○百武会長

ありがとうございました。基本目標④について説明がございました。ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

無いようでございますので、全体を通して何かあればお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、以上で議事を終わりたいと思いますけれども、疑問点、ご意見等ございましたら、後でも結構ですので遠慮なく事務局のほうにお伝えいただければと思います。以上で 7. 協議事項を終わります。事務局にお返しします。

8. その他

○山口総合戦略課長

ありがとうございました。それでは、その他の項に入らせていただきます。先ほど承認いただきました、総合戦略の一部改正については、町のホームページで公表をしたいと思っております。この推進会議の議事録につきましてもホームページで公表させていただいております。公表にあたりまして、個人の氏名は出さないことにしておりますので、すべて「委員」という表記になります。数値や語句の言い間違い等、修正をいたしまして皆様にご確認のためにその内容をお送りさせていただきまして、その後にホームページ上で公表したいと思いますのでご了解いただきたいと思っております。

この推進会議につきましても、今年度は本日の 1 回の予定です。もし必要に応じて開催することとなりましたら、またご連絡差し上げたいと思っております。こちらのほうからは以上でございますけれども、全体を通して皆さんのほうからご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

それでは、ほかに無ければ本日は長時間にわたってご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

9. 閉会

○山口総合戦略課長

これもちまして、令和4年度第1回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議を閉会いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。